

医学科同窓会主催『第7回 学生会員向け講演会』に参加して

医学科同窓会会計 屋 良 さとみ（5期生）
（琉大 感染症・呼吸器・消化器内科学(第一内科) 助教）

本年も医学科同窓会主催「第7回学生会員向け講演会」が、平成22年5月20日（木）19時より臨床講義棟2階講義室にて開催されました。

新臨床研修制度になって以降、最近は学生達の講演希望を聞き取り、ここ3回は研修医の先生方を中心に現在の“臨床研修制度”に関しての講演をお願いすることが継続しており、今回も医師三年目で後期研修一年目（22期生）の5人の先生方にお話して頂きました。

琉球大学附属病院	麻酔科	日 名 太 一先生
那覇市立病院	外 科	上江洌 一 平先生
豊見城中央病院	外 科	大宜見 由 奈先生
中頭病院	内 科	名嘉村 敬先生
沖縄県立中部病院	産婦人科	星 野 香先生

参加者は学生52名（6年次22名、5年次13名、4年次3名、3年次2名、2年次10名、1年次2名）で、卒業生が演者含み8名でした。（3年次がその日が休日で、4年次が部活の幹部が多く、休めなかったという事情があり、予想より少な目でした。）

まず5人の先生方に、各々約15分ずつ話してもらい、その後質問を受ける形で進行していきしました。

特色の異なる5ヶ所の病院の先生方のお話は、学生達にとって大変参考になるものであったと思われます。大学病院、公立病院、一般病院各々

の利点や特徴が具体的に伝わりました。日名先生は「大学病院 RyuMIC システムの利点として、研修プログラムが多様であり、考える習慣がつき、指導医の人数の多さ等を挙げ、研修病院選択のポイントは“将来像として自分が求めること”をはっきりさせ、情報収集すること！」とまとめてくれていました。上江洌先生からは「那覇市立病院は症例数が多く（外来・救急患者数他）、指導医のバックアップ体制があり、多忙ではあったが楽しく仕事・勉強が出来た。研修はどこでもきついが雰囲気自分に合う病院で行うと良い！また減少傾向の外科医にもなって下さいね！」とのことでした。大宜見先生からは「豊見城中央病院での午前6時半から始まり継続す



蔵下副会長あいさつ